

# ◎「会員だより」

12月号の「諸外国のインフラ情報」の「英国のインフラ部門におけるカーボンニュートラルの取り組み」を読みました。世界が脱炭素社会の実現に向けて大きく動き出している中、日本は何をすべきか、私たちの業務上何をすべきか、技術者一人一人が考えていかなければなりません。最も大切なのは個人が学び、意識を変えていくことだと思います。  
匿名希望（地方整備局勤務、41）

11月号の「特集」の長野県の記事は、ただ道路を整備するだけでなく、地域の強みを生かして観光誘客を視野に入れた整備で、本市としても取り組んでいきたい内容であり、非常に参考になりました。  
匿名希望（市町村勤務、39）

毎月「技術資格試験合格記」を楽しみに読んでいます。12月号は1級土木施工管理技士の合格体験記で、自分もこれを取得した頃を思い出し懐かしい気持ちになりました。来月号も楽しみにしています。  
古賀勇氣（市町村勤務、35）

11月号の「特集」の「インフラツーリズムによる地域活性化の取組」で、インフラツーリズムのモデル地区や各地の紹介を読んでいると、いろいろなところへ行ってみたくなりました。コロナが落ち着けばどこから行こうかと楽しみにしています。  
岡田孝夫（奈良県勤務、59）

12月号の「公務員技術者の訴訟リスク」の用地交渉過程の具体的事例は、自分も同様な経験があり、切実かつ身近に潜むリスクだと思います。公務員として熱心に取り組むが故に、特に気をつけなければならないと感じました。  
匿名希望（都道府県勤務、56）

11月号の「災害発生！そのとき」では関東・東北豪雨における堤防決壊時の初動対応について書かれていて興味深い内容でした。このような現場対応の事例は参考になると思います。  
匿名希望（市町村勤務、47）

12月号の「基礎から学ぶインフラ講座」は、土地区画整理事業についてでしたが、改めて仕組みや手法、意義を理解できました。他の事業についても続けていただけたらありがたいと思います。  
匿名希望（都道府県勤務、47）

「災害発生！そのとき（堤防決壊時の初動対応）」に掲載されている「危機管理の基本は悲観的に準備し楽観的に対処すること」という言葉は、災害対応をする現場職員にとっては非常に心強い言葉です。ずっと忘れずに後輩にも伝えていきたいと思えます。  
匿名希望（市町村勤務、32）

12月号の「学ぶ・つなぐ・広げる」を拝読しました。宮崎県のOB職員による土木技術の継承の取り組みは、非常に参考になります。57歳の私には目の状況なので、在職中に有志を集めてこの事例の真似をして取り組んでいきたいと思えました。  
匿名希望（都道府県勤務、57）

11月号の「後輩技術者に向けたメッセージ」の「公務員技術者の心構えとスキル」に『自分で測量、構造計算、図面、設計書を作成』と書いてあり、今の自分の境遇と全く異なり驚きました。また現場の状況をリアルに表現されており、このような記事が読めるのは月刊「建設」ならではのようです。最後の『公務員技術者に何より必要なのは前向きな姿勢』という言葉は含蓄に富みます。  
匿名希望（市町村勤務、52）

私が所属している協会では、コロナの影響もあり、講習会・現場研修など十分に実施できていません。12月号の「学ぶ・つなぐ・広げる」にあるような意見交換会であれば、少人数での開催が可能であり、若手技術者の育成に大きく貢献できると思います。本協会においても、ベテラン技術者と若手技術者の意見交換会の開催を検討したいと思います。  
西村望（名古屋港管理組合勤務、26）

11月号の「事例から学ぶ現場力の向上」を読んで、同じ発注者側の人間として設計図書の記事に際して、改めて気を引き締めなきゃなと思いました。  
菊地晃司（弘前市勤務、27）

12月号の「あーきてくと通信」のゼロカーボン社会の実現に向けた記事を読みました。地球温暖化防止について積極的に取り組んでいる京都府の職員であるからこそ書くことができる記事だと思いました。  
匿名希望（都道府県勤務、23）

12月号の「特集」で川内川水系での治水施設の整備効果の記事がよかったです。月刊「建設」で紹介されている全国的な具体的事例をもとに、自らインターネットで深掘りすることで、推込分水路のほか、同様に激特事業で整備された曾木の滝分水路がデザイン性にも優れているということもわかり、とても参考になりました。  
匿名希望（都道府県勤務、53）

12月号の「ひろば」の令和元年東日本台風関連の記事を読んで、未来を背負う子供に知識を提供していることに感銘を受けました。実際に現場をみることで、防災の知識も高まるし、職業として土木が選択肢の一つになると思います。  
堀貴宏（和歌山県勤務、48）

12月号の大石会長の「上徳不徳」は、最近世間を騒がせた財政論に関する内容であり、非常に興味をもって読ませていただきました。  
匿名希望（市町村勤務、39）

「第679回建設技術講習会（岐阜市）」に参加しました。「公共工事と会計検査」では、指摘事例をわかりやすく説明されており、もっと聞きたいと思いました。  
匿名希望（市町村勤務）

「第679回建設技術講習会（岐阜市）」の現場研修で犀川遊水地牛牧樋門・排水機場工事を見学しました。私の勤務している市でも排水機場工事を行っています。ここまで大規模な工事は見たことなかったので大変勉強になりました。  
匿名希望（市町村勤務）

## ◎「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合はクオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、右のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋  
TEL：03-3585-4546 / E-mail：kensetsu@zenken.com

